

「SANBE でクリスマス！」

1 趣 旨

- ・ 家族に体験活動プログラムを提供することで、家族の絆を深めるとともに、「早寝早起き朝ごはん」をはじめとした基本的な生活習慣を確立するきっかけづくりを行う。
- ・ 親子で一緒に活動することにより、親子活動の楽しさを知ってもらう。

2 事業の概要

- (1) 期 日 ① 平成 29 年 12 月 9 日 (土) ～10 日 (日) <1 泊 2 日>
 ② 平成 29 年 12 月 16 日 (土) ～17 日 (日) <1 泊 2 日>
- (2) 会 場 国立三瓶青少年交流の家
- (3) 協 力 ①エムエフエス(株) (西洋フード・コンパスグループ)、
 島根県立三瓶自然館サヒメル
 ②エムエフエス(株) (西洋フード・コンパスグループ)、
 島根県立三瓶自然館サヒメル、(有) サザンクロス
- (4) 対 象 小学生とその家族 (幼児も可)
- (5) 参加者 ①118 名 (募集 100 名)
 ②108 名 (募集 100 名)

(6) 日程・研修内容

①平成 29 年 12 月 9 日 (土) ～10 日 (日) <1 泊 2 日>

一日目	13:30	14:00	15:00～16:30	17:10	17:30	19:00～20:30	22:30	二日目	6:30	7:00	7:40	9:00	9:30～11:30	11:30	11:45	退所後は? ・三瓶自然館サヒメル見学 (割引券あり) ・埋没林公園見学 (割引券あり) ・三瓶こもれびの広場木工館で創作活動 ・さんべ温泉 (割引券あり) ・世界遺産石見銀山見学 ・早めに帰宅 などなどご都合に合わせてプランニング!!
	入受 所付	オリエンテーション はじめの会	クラフト活動 ～クリスマスバージョン～ 選択活動 ④まつぼっくりの”お話”と ネイチャークラフトづくり ⑤世界に一つだけのクリスマスリースづくり	夕食・入浴・休憩 タベのつどい	夕食・入浴・休憩 タベのつどい	クリスマスパーティー ～キャンドルの灯りの中で クリスマスを満喫しよう～	就寝		起床	朝のつどい・清掃	朝食・休憩	退所点検	オリジナルクリスマスケーキを作ろう!	おわりの会	退所	

② 平成 29 年 12 月 16 日 (土) ～17 日 (日) <1 泊 2 日>

一日目	13:30	14:00	15:00～16:30	17:10	17:30	19:00～20:30	22:30	二日目	6:30	7:00	7:40	9:00	9:30～11:30	11:30	11:45	退所後は? ・三瓶自然館サヒメル見学 (割引券あり) ・埋没林公園見学 (割引券あり) ・三瓶こもれびの広場木工館で創作活動 ・さんべ温泉 (割引券あり) ・世界遺産石見銀山見学 ・早めに帰宅 などなどご都合に合わせてプランニング!!
	入受 所付	オリエンテーション はじめの会	クラフト活動 ～クリスマスバージョン～ 選択活動 ④まつぼっくりの”お話”と ネイチャークラフトづくり ⑤色とりどりのカラーキャンドルづくり	夕食・入浴・休憩 タベのつどい	夕食・入浴・休憩 タベのつどい	クリスマスパーティー ～キャンドルの灯りの中で クリスマスを満喫しよう～	就寝		起床	朝のつどい・清掃	朝食・休憩	退所点検	オリジナルクリスマスケーキを作ろう!	おわりの会	退所	

3 事業の内容

(1)事業の特色

本事業は、当施設の家族対象のプログラムの一環として位置づけている。選択活動を取り入れることで、家族構成や子どもの年齢等の発達段階に応じた体験を提供できるようになっている。また、全体で行う活動によって、家族同士の交流も目的の一つとしている。

(2) プログラムデザインと企画のポイント

プログラムは、「①つくる ②あそぼ ③たべよ」の3つをテーマとして構成し、様々な体験ができるようにした。活動は、既存のものを使うのではなく、連携先と新たに開発したものを取り入れることで、協働のきっかけをつくることができた。また、参加者自らが自分の実施したい活動を選択し、意欲的に活動に取り組めるようにした。

4 成果と課題

《成果》

- ・標準生活時間を守ってもらうために、オリエンテーションやつどいの時間を伝えたことで、参加者は時間を意識して行動し、すべてのプログラムを滞りなく進めることができた。また、規則正しい生活や、他人に迷惑をかけないよう早めの行動をすることを意識させることにつながった。
- ・「クリスマス」をテーマに、今後「自分の家でもやってみよう。」と思えるような体験活動を提供できたことで、親子活動の促進のきっかけをつくることができた。

《課題》

- ・参加者から、「他の家族との交流をもっとしたい」というような意見が多く上がった。今後、参加者のニーズを踏まえ、交流の場面を多くするようであれば、作品の披露を行うなど、プログラムの中で家族同士が話せる仕掛けづくりを行う必要がある。
- ・食品を扱う事業のため、事前に注意事項等を職員間で十分に検討したのちに、それが参加者に事前にわかる形で広報を行う必要がある。

＜連携のポイント＞

今回は、応募人数が非常に多く、参加者を絞ることとなった（①46 家族 181 人の募集から、31 家族 118 人参加 ②49 家族 173 人の募集から、28 家族 108 人）。参加のニーズが高く、今後も地域の様々な機関と連携しながら継続していきたい。



選択活動の松ぼっくりのクラフト活動。講師の方から、松ぼっくりの生態を楽しく学びました。



家族で、オリジナルクリスマスケーキをつくりました。みんなで食べるケーキは、美味しいですね。



世界に一つだけのクリスマスリースづくり。とても素敵な作品ができました。

(担当：事業推進係 狩谷 順子)